

認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金

2024年度年次報告書



豊島周辺で撮影されたスナメリ 撮影：瀬戸内オリーブ基金助成先「牛窓のスナメリを見守る会」

2024.4-2025.3



瀬戸内オリーブ基金
SETOUCHI OLIVE FOUNDATION

次の世代へ、 美しいふるさとを引き継ぐ。

瀬戸内オリーブ基金は、当時日本最大規模といわれた有害産業廃棄物の不法投棄事件「豊島事件」をきっかけに、建築家の安藤忠雄氏と、豊島事件弁護団長の中坊公平氏が呼びかけ人となって設立された NPO 法人です。
2000年、公害調停成立を機に設立されて以来、瀬戸内海エリアの美しい自然環境を守り、再生することを目的に活動をしています。



代表あいさつ

平素は当基金の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本報告書は、当基金が2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）に行った活動を取りまとめ、みなさまからお預かりした寄付金をどのような活動に使わせていただいたかを報告するものです。

当基金は、瀬戸内の自然、つまり「ゆたかな島と海」を次の世代に引き継ぐことを目的として、瀬戸内海エリアで行われる環境保全活動にみなさまからお預かりした資金を助成するとともに、自らも豊島をフィールドとする環境教育に取り組んでいます。

2024年度は、当基金を継続的にご支援いただける個人、法人のサポーターを拡充する取り組みを強化し、多くの個人様と企業様にサポーターになっていただきました。今後、サポーターのみなさまと連携しながら、様々な取り組みを進めてまいります。

また、ニュースレターを毎月発行し、SNSを活用することにより、活動内容を適時、適切に発信する広報体制を心がけました。加えて、より利用しやすい助成制度を目指し、助成案件も拡大しました。

引き続き、当基金への変わらぬご支援をお願い申し上げます。



理事長
岩城 裕

瀬戸内オリーブ基金の活動

- 1 瀬戸内海エリアの海ごみ・プラスチックごみを減らす
- 2 瀬戸内海エリアの緑を守る・再生する
- 3 豊島事件の継承など、次世代に向けた環境教育

助成プログラムと直轄事業によって瀬戸内海エリアの環境保全・再生に尽力しています。





助成プログラム

瀬戸内海エリアの環境をまもる

海上交易で文化や産業を育み、一万年にわたって島々や沿岸の住民に海の幸をもたらしてきた瀬戸内海は、日本を代表する美しいふるさとのひとつであり、この豊かな環境を日本のふるさととして次世代に引き継ぐことを目的に設立当初から助成プログラムを展開しています。

瀬戸内海エリアで環境保全活動を行っている団体・個人に対し、活動資金を助成しています。瀬戸内の山・森・川・海や生き物を守る活動や環境学習の取り組み助成する「ゆたかなふるさと助成」に加え、これから始めるユニークな環境保護活動などに対し、原則3年間支援する「スタートアップ助成」があります。オリーブ基金では、適正な助成を実現するため、外部の有識者で構成する助成審査委員会を設置し、その検討結果をふまえて、オリーブ基金運営委員会が助成決定をしています。

1 採択した団体とプロジェクト及び助成額

ゆたかなふるさと助成（単年度）

助成対象期間 2024年11月～2026年3月

府県名	団体名	プロジェクト名	主な活動の内容	助成額
愛媛県	竹林をよくする会	放置竹林の伐採と伐採竹の有効活用で、豊かな里山自然を再生する	竹林整備と竹の再利用を通じ、学生との環境教育にも取り組み、地域の持続可能性を高める。	¥370,000
京都府	特定非営利活動法人ひとともしデザイン研究所	千年続く街、京都嵯峨嵐山の自然風景を次の世代に繋ごう！	嵯峨嵐山の自然景観を保全し、地域と連携して次世代への継承に取り組む。	¥670,000
岡山県	牛窓のスナメリを見守る会	豊島周辺におけるスナメリの生息実態を調べるプロジェクト	スナメリ調査と手引書の制作を通じて、未調査地域への展開を目指す。	¥300,000
香川県	豊島 棚田くらぶ	唐櫃岡の棚田再生・保全プロジェクト	耕作放棄地を再生し、穀物や季節の花を育てることで農と景観の再生を図る。	¥520,000
兵庫県	特定非営利活動法人樹木研究会こうべ	幻の梅品種の復活と里山梅林づくり	重五郎梅の増殖と生育環境の研究を行い、里山の整備を通じて特産の復活を目指す。	¥220,000
兵庫県	一般社団法人淡路水交會	令和6年度漁業者による森づくり活動	植樹で森林再生を促進し、伐採材でアオリイカの産卵床を造成。森と海の循環に寄与。	¥570,000
大阪府	特定非営利活動法人里山倶楽部	伝統工法による里山災害復旧と里山保全の人材育成	環境改善ワークショップや里山講座を通じ、住民主体の復旧と学びの場を創出。	¥430,000
岡山県	たましま干潟と鳥の会	たましまの未来に渡り鳥の集う干潟を残したい！～なぜ今干潟なのか～	干潟の生態系保全のため、観察会・シンポジウムや人工干潟の提案を行う。	¥640,000

府県名	団体名	プロジェクト名	主な活動の内容	助成額
徳島県	特定非営利活動法人 アユートネットワーク	鳴門市海岸漂着物撤去活動	鳴門市の海岸に漂着した約100㎡の海洋ゴミを回収・調査・処理し、報告まで一貫対応。	¥290,000
兵庫県	東お多福山 草原保全・再生研究会	東お多福山の生物多様性豊かな ススキ草原の保全・再生と活用	ネザサを刈り取り、ススキ草原を再生。生物多様性保全と自然資源の普及啓発を図る。	¥670,000
和歌山 県	一般社団法人 加太・友ヶ島 環境戦略研究会	加太・友ヶ島における海洋ごみの 調査・クリーンアップと普及 啓発活動	沖ノ島で海岸清掃と市民参加型調査を実施し、環境教育・普及活動も展開。	¥590,000
広島県	山海環	竹が繋ぐ「里山」と「里海」の 循環と再生	牡蠣養殖に伴う環境課題に対し、竹や炭の活用で負荷軽減を図り、改善策を検討。	¥670,000
山口県	認定NPO法人 もりのこえん	里山環境保全活動	地域での清掃や里山保全活動を通じ、自然と共に生きる意識を高める取組を実施。	¥510,000
兵庫県	フォレスター松寿	「松寿の森」づくり	森林の保水力と地盤を強化し、防災と憩いの場づくりのため登山道整備などを実施。	¥270,000
大阪府	天神祭ごみゼロ大作戦 実行委員会	天神祭ごみゼロ大作戦2025	天神祭でのリユース食器やごみ分別、清掃、給水設置などで資源循環を推進。	¥670,000
香川県	特定非営利活動法人 クリーンオーシャン アンサンブル	海洋ごみ調査プロジェクト	海岸・海中・海底のごみを回収・分析し、発信によって海洋ごみ問題の解決を目指す。	¥610,000

スタートアップ助成（3年間） 助成対象期間 2024年11月～2028年3月

府県名	団体名	プロジェクト名	主な活動の内容	助成額
香川県	田浦オリーブ プロジェクト	田浦オリーブプロジェクト 『島の未来へつなげる』	荒れた段々畑を整備し、循環型農法でオリーブを育成。植樹を通じて地域の再生を図る。	¥1,000,000
広島県	特定非営利活動法人 三段峡～太田川流域 研究会	海を豊かにする森づくり ～都市と里山を結ぶ 溪畔林再生事業～	植林された山林を混交林へ再生し、生態系サービスを高める。企業と連携し苗づくり・モニタリング・伝統食文化の保全も実施。	¥1,000,000

2 助成事例の紹介

2024年度助成 認定NPO法人もりのこえん 里山環境保全活動



もりのこえんは、保育事業を中心に、子どもたちが自然とふれあいながら学ぶ自然体験活動を行っている団体です。その一環として、里山の自然環境保護と地域との連携を目的に、山口市上天花町周辺で、年間24回の地域環境整備活動と、年間11回の里山環境保全活動を行いました。

活動内容は、竹林の整備や植樹、耕作放棄地での農作業など多岐にわたり、山から川、海へとつながる自然の循環、人と自然が共に生きることをの意を、実体験を通じて伝えることを大切にしています。これらの活動は、地域の方々や学生ボランティアと協力して実施し、耕作放棄地の再生活用や生物多様性の保全にも貢献しました。集客面での課題はあったものの、参加者からは自然とともに生きることの大切さや豊かさを実感できたという声が寄せられました。

今後も活動を継続し、自然と共にある暮らしの意義を広げていきたいと考えています。





豊島事件を語り継ぐ活動

豊島事件を風化させないために

豊島事件は、自然と人の暮らしの関係を問い直す契機となった環境汚染事件であり、今を生きる私たちの社会にも深くつながっています。瀬戸内オリーブ基金は、住民の思いを受け継ぎ、自然再生とともにその記憶を未来につなぐ活動を続けています。設立25周年を迎える今年、基金は次世代を担う子どもたちへの環境教育にも力を入れ、教訓を伝える取り組みを広げています。

豊島事件をきっかけに日本は循環型社会に転換しようとしています。しかし時間の経過とともに事件の記憶は風化し、その意義と教訓は忘れ去られつつあります。豊島事件の意義と教訓を次世代に引き継ぐために、豊島事件の紹介動画や英字パンフレットの作成、事件記録の保存や整備、資料館の改修などに取り組んでいます。この事業は地球環境基金からの助成を受けて活動しています。

1 豊島事件の公害調停成立記念日に中学生66名が現地学習



6月6日、滋賀県の聖パウロ学園光泉カトリック中学校の1年生66名が、豊島を訪れて環境学習を行いました。豊島事件の公害調停成立から24年となる記念日にあわせた取り組みです。前日には、瀬戸内オリーブ基金の運営委員と事務局が同校を訪問し、YouTube動画「すぐにわかる豊島事件」を活用した事前学習を実施しました。

当日は、産業廃棄物不法投棄の処分地跡地や、豊島・豊島美術館を見学しました。生徒からは「規模の大きさに驚いた」「住民が協力して解決に取り組んだことが印象的だった」といった声が聞かれました。この取り組みは、朝日新聞、毎日新聞、NHK香川、RSK山陽放送など複数のメディアにも取り上げられました。

2 米国務省「CLSプログラム」による米国大学生の受け入れ



7月6日、岡山大学が受け入れているアメリカ国務省の大学生研修プログラムの一環で、アメリカの大学生25名が豊島を訪れ、環境学習を行いました。島キッチンで地元食材を使った弁当を食べた後、唐櫃の清水や豊島美術館を見学。処分地跡地の「豊島のこころ資料館」では、住民会議の安岐正三さんから当時の経緯を聞きました。午後は、エスポワール・パークで島民へのインタビューを実施。言葉の壁を越えて、真剣に耳を傾ける姿が印象的でした。

3 島の学校Webサイトの充実



豊島事件のアーカイブWebサイト「島の学校」の内容を充実させました。これまでの教材、年表、重要資料の掲載に加え、新たに語り部へのインタビュー動画も公開しました。教育現場での活用を見据え、今後も引き続き内容を拡充していきます。

4 展示会への出展

new環境展2024



2025年5月22～24日、東京ビッグサイトで開催された「環境展」に瀬戸内オリーブ基金が出展しました。昨年に続き、法人サポーターの新日本溶業様のご厚意により、ブースの一部を無償でご提供いただきました。

今回は、豊島事件の経緯や現状、基金の活動紹介を目的に出展。ブースでは、処理事業に関わった方や見学経験のある方、豊島事件を初めて知った若い来場者など、幅広い方々が訪れました。

5 見学者の受け入れ



豊島事件の現地学習の一環として、処分地見学の受け入れを調整しました。見学対応は廃棄物対策豊島住民会議が行い、瀬戸内オリーブ基金は日程調整やゆたかなふるさと100年プロジェクトの現地案内などを担当しました。

実施日	法人サポーター名	人数
4月11日	(株)ユニクロ・(株)ジーユー	22
4月21日	アースデイ	12
5月9日	株式会社ルーヴ（菓子工房ルーヴ）	12
5月30日	NGP日本自動車リサイクル事業協同組合	16
6月6日	光泉カトリック中学校	66
7月6日	「CLSプログラム」米国大学生	25
10月10日	NGP日本自動車リサイクル事業協同組合	2
10月16日	(株)ユニクロ・(株)ジーユー	21
10月26-27日	法人サポーターなど	21
10月30日	株式会社ルーヴ（菓子工房ルーヴ）	6
11月8日	新日本溶業(株)	3
11月26日	豊島住民など	5
12月5日	(株)ユニクロ・(株)ジーユー	19
1月30日	NGP日本自動車リサイクル事業協同組合	0
2月7日	新日本溶業(株)	5



ゆたかな海
プロジェクト

瀬戸内海エリアの海洋プラごみを減らす

海洋プラごみ問題は、豊島の産業廃棄物と同じく大量廃棄の問題であり、私たちの便利で快適な生活が持続可能なのが問われています。「豊かな島と海を次の世代に」つないでいくために、オリーブ基金は「ゆたかな海プロジェクト」を直轄事業として展開しています。

瀬戸内オリーブ基金では、2009年度から海底に大量に沈んでいる海ごみの問題に取り組んできました。スポーツごみ拾い(スポGOMI)、環境学習会の開催やボランティアとの海岸清掃など、海ごみの回収と発生抑制に取り組んでいます。

1 環境学習イベント「瀬戸内海のスナメリを知ろう」開催



8月27日、助成先団体「牛窓のスナメリを見守る会」の協力のもと、環境学習イベント「瀬戸内海のスナメリを知ろう」を豊島で開催しました。豊島に住む子ども12名、大人12名が参加し、スナメリの生態や瀬戸内海の海洋環境について学びました。

前半の「スナメリ教室」では、キャプテン・スナメリを講師に迎え、スナメリの特徴や保全の重要性を楽しく学びました。続くワークショップでは、粘土を使ってスナメリを制作し、それぞれの学びが個性あふれる形で表現されました。

昼食は「スナメリ食堂」と題し、スナメリの食べる海の幸を使った料理を提供。瀬戸内の恵みを味わいながら、食を通して自然とのつながりへの理解も深まりました。

子どもたちが楽しみながら自然環境への関心を高め、スナメリをはじめとする海のいきものを守る意識を育むきっかけとなりました。

当日の様子は四国新聞でも紹介していただきました。

2 スポーツごみ拾い（スポGOMI）



スポGOMIは、「スポーツで街をキレイにする！」を合言葉に、一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブが展開する、スポーツと社会奉仕活動を組み合わせた取り組みです。瀬戸内オリーブ基金では2019年度からこの活動を支援しており、主催団体への呼びかけや開催にかかる資金援助、道具や消耗品の提供などを行っています。

2024年度は5カ所で開催され、延べ330人が参加しました。継続して実施して下さる団体も多く、地域の恒例行事として定着しつつあります。子どもからお年寄りまで幅広い世代が参加し、楽しみながら海ごみ問題を考えるきっかけとなっています。活動は、香川県高松市の「海守さぬき会」の協力のもと実施しました。

実施日	開催場所	主催団体	チーム数	参加人数 (人)	ごみの量 (kg)
5月13日	豊島 とちゃま（香川県小豆郡土庄町）	瀬戸内オリーブ基金	3	15	30.3
9月16日	豊島 蛇浜（香川県小豆郡土庄町）	ボーイスカウト香川連盟	13	57	78.8
12月1日	香川県高松市松島町	松島地区コミュニティ協議会	32	136	81.5
12月15日	大阪府堺市北区大泉緑地	seaguards	7	24	34.0
3月15日	湊・大新田海岸（愛媛県今治市）	ビーチクリーンしまなみ	21	98	133.5

3 豊島の海岸清掃

瀬戸内オリーブ基金では、豊島における海岸清掃を継続的に実施しています。2024年度は延べ3回の活動を行い、地域住民やボランティアとともに、海岸に漂着したプラスチックごみなどを約331kg回収しました。豊島では袋に入らない大型のごみについては、行政の対応方針もあり現場に残すケースが一般的ですが、基金では可能な範囲で持ち帰り、産業廃棄物として適切に処理しています。

実施日	ボランティア企業	参加人数 (人)	燃える ごみの量 (kg)	燃えない ごみの量 (kg)	大型 ごみの量 (kg)
4月11日	株式会社ユニクロ・株式会社ジーユー	22	118.8	53.7	
12月5日	株式会社ユニクロ・株式会社ジーユー	19	48.4	40.3	2.1
2月7日	新日本溶業株式会社	5	49.3	18.6	



豊島・ゆたかなふるさと 100年プロジェクト

豊島のゆたかな自然を取り戻す

豊島の産業廃棄物不法投棄によって失われた自然を再生し、次世代に引き継ぐ事業です。この場所を国立公園にふさわしい状態に回復する取り組みを続けており、今後長い時間をかけて自然海岸、自然の植生に変えていくため、2021年度から「豊島・ゆたかなふるさと100年プロジェクト」として、リスタートしました。

当プロジェクトの活動現場「ゆたかなふるさと再生の森」は瀬戸内海国立公園内にありますが、長期間にわたり海浜や山の土砂が採取・掘削され、表土が失われています。それに加え、不法投棄によって植生がかく乱されており、国立公園とは名ばかりの状態になっています。瀬戸内オリーブ基金は、嶋一徹氏（岡山大学岡山大学学術研究院環境生命自然科学領域）の助言のもと、豊島住民や企業ボランティアと協力し、自然が自ら回復できる環境づくりに取り組んでいます。

人工的に整備するのではなく、自然がゆっくり回復できるようにすることを目的に環境の整備を進めています。

1 豊島住民向け植生回復現場 見学ツアー開催



11月26日と12月5日に、豊島住民や豊島小学校の児童を対象に、産廃処分地や柚の浜のゆたかなふの見学ツアーを行いました。農学部の嶋教授の案内のもと、攪乱された土地の植生が回復する過程や課題について学び、2018年からツツジの植栽を続けている場所も訪れました。名札のついたツツジを見つけて笑顔を見せる児童の姿や、「自分もボランティアとして関わりたい」という住民の声も聞かれ、学びと地域参加のきっかけとなる貴重な機会となりました。

2 企業ボランティアとの 取り組み



このプロジェクトの活動には人数が必要で、法人サポーターの皆様が2024年度は131人が参加し、「ゆたかなふるさと再生の森」の整備などを行いました。

実施日	法人サポーター名	人数
4月11日	(株)ユニクロ・(株)ジーユー	28人
5月9日	株式会社ルーヴ（菓子工房ルーヴ）	27人
5月30日	NGP日本自動車リサイクル事業協同組合	14人
10月10日	NGP日本自動車リサイクル事業協同組合	9人
10月16日	(株)ユニクロ・(株)ジーユー	22人
10月30日	株式会社ルーヴ（菓子工房ルーヴ）	13
12月5日	(株)ユニクロ・(株)ジーユー	19
1月30日	NGP日本自動車リサイクル事業協同組合	11
2月7日	新日本溶業(株)	5



豊島のオリーブ

決意と希望の象徴のオリーブの栽培

公害調停が成立した2000年、住民たちは、二度とこのような事件を繰り返してはならないという決意を込めて、全国から寄せられた寄付金でオリーブを植樹しました。豊島のオリーブは、美しいふるさとを守るために闘った人々の熱い思いと希望の象徴です。瀬戸内オリーブ基金は、その思いをつないでいくために、住民とともにオリーブの栽培を行っています。

25年前にみなさまからのご寄付で植樹されたオリーブの幼木は、今では実を収穫できるまでに育ち、毎年11月ごろに手摘みで収穫を行っています。収穫後24時間以内に搾油し、食用オリーブオイル、美容オイル、石鹸を製造・販売。その売上は、瀬戸内エリアの自然を守る活動に活用されています。

2024年の収穫量は987.95kg、搾油量は51.30kg。収穫期には高温と少雨が続き、果実の生育に厳しい条件となったことから、前年より大きく減少する結果となりました。それでも、手間を惜しまない住民の方々の丁寧な管理により、今年も香川県の「プレミアム」評価を受けることができました。

また今年は、初の法人サポーター収穫祭を開催したほか、「豊島図鑑」シリーズとして、東京と豊島で体験イベントを実施。「豊島OLIVE」の魅力を島外の方々にも伝える機会となり、オリーブを通じた新たな交流が生まれました。

1 法人サポーターご招待 オリーブ収穫祭を開催



10月26・27日、当基金の法人サポーターの皆さまを豊島にお迎えし、オリーブの収穫体験や現地見学を通じて、基金の活動とその意義にふれていただきました。

収穫体験では、一粒ずつ丁寧に手摘みし、作業の大変さと喜びを実感していただきました。豊島事件の現場では、安岐正三氏（住民会議）と岩城裕（理事長）から、当時の状況や住民の声を直接お伝えしました。また、「ゆたかなふるさと再生の森」では、岡山大学・嶋教授の案内のもと、島本来の自然を取り戻す取り組みについて学んでいただきました。

最後の交流会では、それぞれの立場から感想や気づきを共有いただき、今後の関わりにも前向きな声をいただく貴重な時間となりました。

2 豊島OLIVEの 魅力発信イベントを開催



2024年度は、「豊島図鑑」シリーズとして3回のイベントを開催し、島内外の方々に豊島の自然・暮らし・歴史を伝える取り組みを行いました。

7月・9月には東京都内でワークショップイベントを実施。オリーブオイルのテイスティングや、豊島の食文化や環境の話を交えながら、五感で島を体験していただきました。都市部からでも島の魅力にふれられる機会として、多くの方にご参加いただきました。

10月には「豊島図鑑ツアー～オリーブ収穫祭～」を豊島で開催。民泊に泊まり、地元の方々と交流しながら、オリーブ収穫や選果、豊島事件跡地や活動現場の見学を行いました。島での暮らしや自然、環境問題の背景までを体感できる、アートの島だけではない、濃密な2日間を体験しました。

運営報告

活動計算書

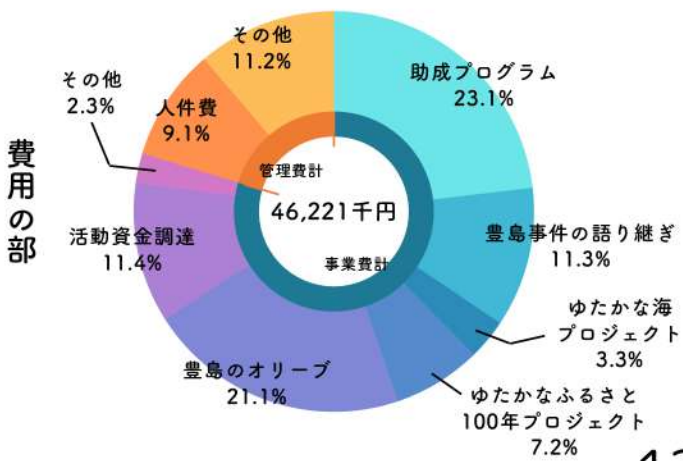
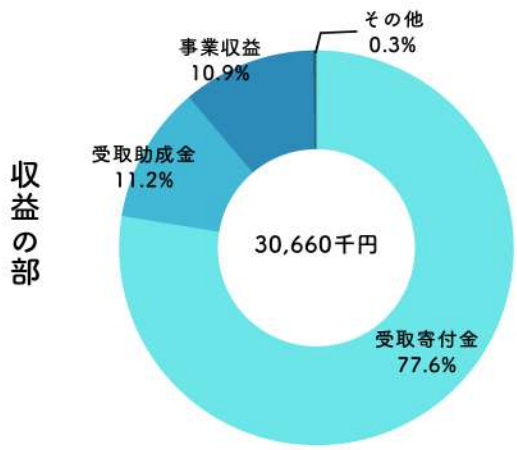
(単位：円)

科目			金額
経常収益	受取寄付金		23,789,612
	受取助成金		3,445,000
	オイル製品等売り上げ		3,164,835
	その他		260,863
	経常収益計		30,660,310
経常費用	事業費	助成プログラム	10,681,977
		豊島事件の語り継ぎ	5,218,520
		ゆたかな海プロジェクト	1,516,616
		ゆたかなふるさと100年プロジェクト	3,307,990
		豊島のオリーブ	9,771,318
		活動資金調達	5,257,963
		その他	1,083,643
		事業費計	36,838,027
	管理費	人件費	4,199,432
		その他	5,183,618
		管理費 計	9,383,050
	経常費用計		46,221,077
	当期経常増減額		-15,560,767
	経常外収支		0
	法人税等		70,000
当期正味財産増減額		-15,630,767	

貸借対照表

(単位：円)

科目		金額	
資産の部	流動資産	現金預金	66,320,844
		売上債権	3,042,585
		棚卸資産	5,165,504
		流動資産合計	74,528,933
	固定資産	有形固定資産	5,782,062
		その他	1,914,283
		固定資産合計	7,696,345
資産の部合計		82,225,278	
負債の部	流動負債	支払前助成金	6,142,520
		未払金	1,118,412
		預り金	130,444
		未払法人税等	70,000
		流動負債計	7,461,376
	負債の部合計		7,461,376
正味財産の部	前期繰越正味財産額		90,394,669
	当期正味財産増減額		-15,630,767
	正味財産合計		74,763,902
負債及び正味財産の部合計			82,225,278



理事会・総会・運営委員会

理事会・総会開催状況

[2024年度第1回理事会]

日時：2024年6月22日

場所：梅田新道法律事務所

主な内容：2023年度事業報告・収支報告審議、2024年度事業計画・予算審議

[2024年度総会]

日時：2024年6月22日

場所：梅田新道法律事務所

主な内容：2023年度事業報告・収支報告審議、2024年度事業計画・予算審議

運営委員会開催状況

出席者：理事、監事、運営委員、企画委員

場所：梅田新道法律事務所

開催回	開催日	主な審議議題
第1回	2024年4月27日	2024年度計画／サポーターとの取り組み／環境教育内容検討／ファンドレイジング
第2回	2024年5月18日	豊島OLIVE周知イベント／助成プログラム要項検討／ファンドレイジング
第3回	2024年6月22日	実施イベント振り返り／助成プログラム広報検討／ゆたかな海プロジェクト
第4回	2024年7月20日	現場設備整備／助成プログラム要項検討／海岸ゴミの処理／ファンドレイジング・他
第5回	2024年8月24日	秋イベント／海岸ゴミの処理／法人サポーターとの連携／業務体制見直し・他
第6回	2024年9月28日	秋イベント計画／オリーブオイル販売促進／ファンドレイジング・他
第7回	2024年11月2日	秋イベント総括／助成審査／助成プログラム総括／事務手続き整理・他
第8回	2024年11月30日	オリーブ収穫報告／豊島事件見学内容の充実／連携模索（助成団体・法人）・他
第9回	2024年12月21日	広報の見直し／助成プログラム分析／25周年準備／中長期計画・他
第10回	2025年1月25日	豊島事件見学内容の充実／中長期計画／広報／ファンドレイジング・他
第11回	2025年2月22日	オリーブオイル販促／25周年事業／助成プログラム検討／ファンドレイジング・他
第12回	2025年3月22日	来季予算検討／25周年事業／環境教育強化／ファンドレイジング・他

運営委員紹介

役名	氏名	所属
理事（理事長）	岩城 裕	弁護士（大阪弁護士会所属）
理事（副理事長）	青木 智弘	認定NPO法人やまぼうし生活支援部（元『暮らしの手帖』食料・園芸担当）
理事	安藤 忠雄	建築家（安藤忠雄建築研究所）
理事	中地 重晴	熊本学園大学社会福祉学部教授
監事	新田 幸弘	株式会社ファーストリテイリング
監事	藤田 恵介	公認会計士・税理士
運営委員	十河 完也	安藤忠雄建築研究所
運営委員	シェルバ 英子	株式会社ユニクロ
運営委員	兼平 裕子	前愛媛大学法文学部教授・元税理士
運営委員	岡野 雅通	日本アイ・ビー・エム株式会社
運営委員	嶋 一徹	岡山大学学術研究院環境生命自然科学領域

事務局紹介



塩川 ゆうり
事務局長

／ 豊島はスモモや枇杷の季節です。オリーブにも小さな実が実り始めてます。



清水 萌
事務局

／ 今年で7年目に突入し古株感も増す中、変わらず初心とわくわくを大事にしたいと思います！



松澤 千穂
事務局

／ 今年1月末に基金に加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

2024年度にご支援いただいた法人サポーター様のご紹介



Lebel
ALL YOUR OWN



Doux Atelier
Löwe
菓子工房ルーヴ



SHIMADZU

新日本溶業株式会社



日本ケミフエルト株式会社

KURABIZ

エルソニック株式会社



TAGAMI EX

TOKUTAKE

SENSO
del
MARE

Tazumi



Standard
Products

THREEPPY



MORITO
モリト株式会社
モリトジャパン株式会社

株式会社東レ／クリーニング福助／百十四リース株式会社

瀬戸内オリーブ基金への参加方法

オリーブ基金の活動はみなさまからのご寄付・ご支援により運営されています。お寄せいただいたご支援は瀬戸内海の美しい自然を次の世代に引き継ぐために、責任をもって瀬戸内海エリアの環境保全に取り組む団体に支援するなど、未来につないでいく活動に活用します。

個人サポーター

個人サポーター会員は、5,000円／年を1口として、瀬戸内オリーブ基金を継続的にご支援いただくプログラムです。サポーター会費は、クレジットカードでお支払いいただけます。また、ご都合の良いときに、ご自由な金額でご寄付いただける、都度の寄付もごございます。

法人サポーター

法人サポーターは、金銭面だけでなく、支援品や協賛企画によって瀬戸内オリーブ基金の活動をご支援いただくプログラムです。募金箱の設置や商品のご寄付等、様々な支援方法がごございます。お気軽にお問い合わせください。

くわしくはこちら▼

<https://www.olive-foundation.org/donation/>



みなさまからのご寄付は寄付金控除の対象になります



瀬戸内オリーブ基金
SETOUCHI OLIVE FOUNDATION

〒 761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦3837-4

☎ 0879-68-2911

✉ info@olive-foundation.org

🌐 <https://www.olive-foundation.org/>

📷 @olive_foundation

📘 瀬戸内オリーブ基金

✂ @oliveF_spoGOMI

📺 @olive-foundation